江戸参府紀行行程

1641年（寛永18年）
商館長マクシミリアン・メール

日数	西暦	和暦	天候	距離	行　程	日　　誌
1	3/16				平戸出発	早船で出発
2	3/17				黒嶋－外通	
3	3/18				呼子	
4	3/19				相の島	
5	3/20				下関－上関－上宮	
6	3/21				横嶋	
7	3/22				牛窓	
8	3/23				室	
9	3/24				大坂着	
10	3/25					
11	3/26					
12	3/27					
13	3/28					
14	3/29				京都着	
15	3/30					
16	3/31			7	京都－大津－草津	
17	4/1			12.5	草津－水口－関の地蔵	
18	4/2			17	関の地蔵－桑名－船－宮	
19	4/3			12	宮－岡崎－赤坂	
20	4/4			10.5	赤坂－新井－浜松	
21	4/5			10	浜松－袋井－金谷	
22	4/6			10.5	金谷－大井川－岡部－江尻	
23	4/7			10	江尻－蒲原－沼津	
24	4/8				沼津－三島	
25	4/9			7.5	三島－箱根－小田原	
26	4/10			10	小田原－大磯－戸塚	
27	4/11				戸塚－川崎－品川	案内人：長崎奉行　源衛門
						平戸から長崎へ移すよう指示、入港は長崎へ
1	5/19				江戸－戸塚	
2	5/20					
3	5/21					
4	5/22					
5	5/23					
6	5/24					
7	5/25					
8	5/26					
9	5/27					
10	5/28				京都着	
11	5/29					
12	5/30					
13	5/31				大坂着	
14	6/1					
15	6/2					
16	6/3					
17	6/4					
18	6/5					
19	6/6					
20	6/7					
21	6/8				平戸着	（注）商館は長崎へ移転しているはず。

参考文献
・オランダ商館長日記　訳文編　4上　　東京大學資料編纂所編